寫眞週報

情報局編輯

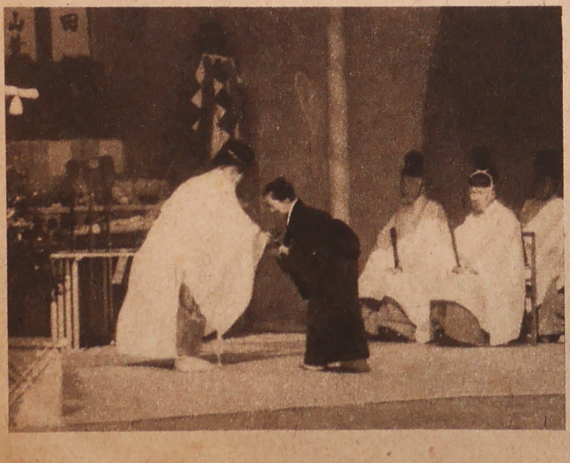
四月廿二日・第二百十七號・十セン

棄權すな！四月卅日は總選擧

昭和十三年二月十二日 第三種郵便物認可 昭和十七年四月廿二日發行（毎週一回水曜日發行） 第二百十七號

こゝらで一つ振り返つてみよう
『變つたなあ』と、きつと驚くに違ひない
昨日までの米英的考へ方や生き方
いつの間にかそんなものから脱皮して
しつかりと國土に根をおろし
毎日毎日を生きてゐたのだ
生きてゐるのだ
生きて行くのだ

⇧ 柩車は軋み葬場へ進む



⇦ 紋服の腰かゞめて岩佐中佐の母堂は玉串を捧げて懐かしの遺影を仰ぐ

軍神九柱の合同海軍葬

四月八日　東京日比谷公園

昭和十六年十二月八日未明、ハワイ眞珠灣を强襲し、米太平洋艦隊主力を覆滅して灣内深く沈み、再び還らない純忠無比の軍神九柱の合同海軍葬は、月こそ變れその命日に當る四月八日、廣瀨中佐の海軍葬以來絶えて久しい森嚴の盛儀をもつて日比谷公園葬場で執り行はれた。この日一億國民は齊しく新たな感謝と限りない追慕崇敬の念をもつて永へにその御靈を送つた

海行かば水漬く屍—九軍神の英靈は天翔つて、いまこそ祖國の榮光の前、春光うらゝかなこの葬場に至り、かくて醜の御楯、國の護りとして永へに神鎭まつたのであつた

海軍新鋭攻撃機発表さる

⇦インド洋上空を制壓するわが海軍新鋭攻撃機　撮影　海軍省

飛行機好きの友人が集ると話は結局、飛行機になつた。そして落ちるところは何故世界一の軍艦や日本刀や大和魂までありながら、飛行機だけは駄目なんだらう。餘計なお世話だよ君、そんな心配は軍人のすることだよ、いや日本人である以上心配して何が惡いんだ、國を思へばこそではないか、と櫻の見物も忘れて語り合つたのもついこの間のやうな氣がする

その中には名譽の戰死をした友もあり、試驗飛行中殉職した人々もあつた

昭和十二年四月六日神風號の塚越さんと、先般名譽の戰死をされた飯沼さんを見送りに早朝、羽田飛行場を訪れた

純國產の神風號の發動機はその名も目出度い『壽』ではあるが、この單發で一万五千三百五十七キロを翔破できるだらうか、こんな狹い坐席に長時間坐つて行く兩勇士を見ては寧ろ氣の毒な感じさへした

幸ひにして無事戻れたとしても、どうせ歸りは船だらうと思つた。ところが點火栓の交換さへ必要としない程の好調で飛んで歸つたのである。兩氏の精神力、體力、技倆の精華であると共に、この飛行機と發動機とを作り上げたわが航空技術陣の勝利でもある

越えて昭和十四年八月二十六日ニッポン號は金星發動機をその左右に備へて鵬程實に五万二千八百六十キロの世界一周大飛行の壯途についた。中尾機長以下優秀なる乘員と自動操縱裝置まで完備した同機の成功は豫定通り實を結んだ

その後、神風號によく似た陸軍偵察機とニッポン號によく似た海軍陸上攻擊機との活躍振りが次ぎ〱新聞紙上を賑はして、これらの大飛行が實戰のための試驗飛行であつたやうな氣がしたのである

いま考へてみれば當時既に米英は、わが空軍の優秀性に氣付くべきだつたと思ふ

今度、空氣力學的にも實用的にも洗練されたわが海軍新鋭攻擊機の寫眞を見て何ともいへぬ嬉しさが込み上げて來るのである

ピンと張つた強さうな、輕さうな主翼、どん栗のやうな發動機房と環狀覆に包まれた信賴性に充ちた、強さうな發動機は

ニッポン號は昭和十四年八月二十六日、東京羽田飛行場を離陸、二大洋と五大洲を翔破して、鵬程五万二千八百六十キロ、實飛行時間百九十四時間の新記錄を樹立、十月二十日東京に歸還した

撮影　東京日日新聞社

片舷飛行の餘裕もたつぷりだらう。その下側には申分なく引込められた降着車輪、葉卷のやうなツェッペリン型のゆつくりした胴體、これなら機上の作業に朝から晩まで頑張つて戴いても心苦しくない胴體、すつかり改良された銃座、これでは敵も寄りつけまい

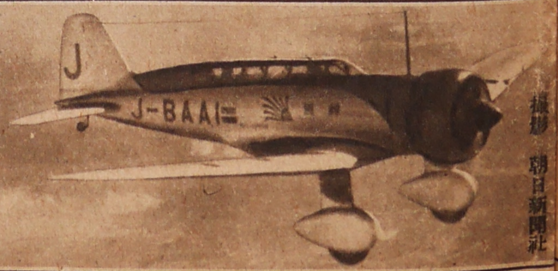
　視界滿點の操縱席、渡洋も雲上も何でも御座れといひたいばかりの空中線、鰹の尾鰭のやうながつちりした一枚の尾翼、速いだらう、高いだらう、長いだらうとその速度、上昇、航續等の性能を想像して微笑んでみる

　この飛行機に大和魂を加へて腹一ぱいかゝへた爆彈を米英軍の頭上にたゝきつける樣子を考へる

　寫眞を何遍もなめるやうにながめながら、發動機の爆音を耳に浮べながら、好きな芝居を見たよりも、甘い菓子をたべたよりも、うまい酒をのんだよりも、美しい音樂を聞いたよりも、もつと〱うれしい感激と、この間買つたあの國債も、この間献納したアルミの古釜も、この飛行機の何處かに熔け込んでゐることを合點して、何ともいへぬ喜びが湧いてくる

　この飛行機、あの軍艦、そしてあの戰車、兵隊さん切味はどうですか、と聞いてみたくなるのである（四月八日大詔奉戴日の夜）

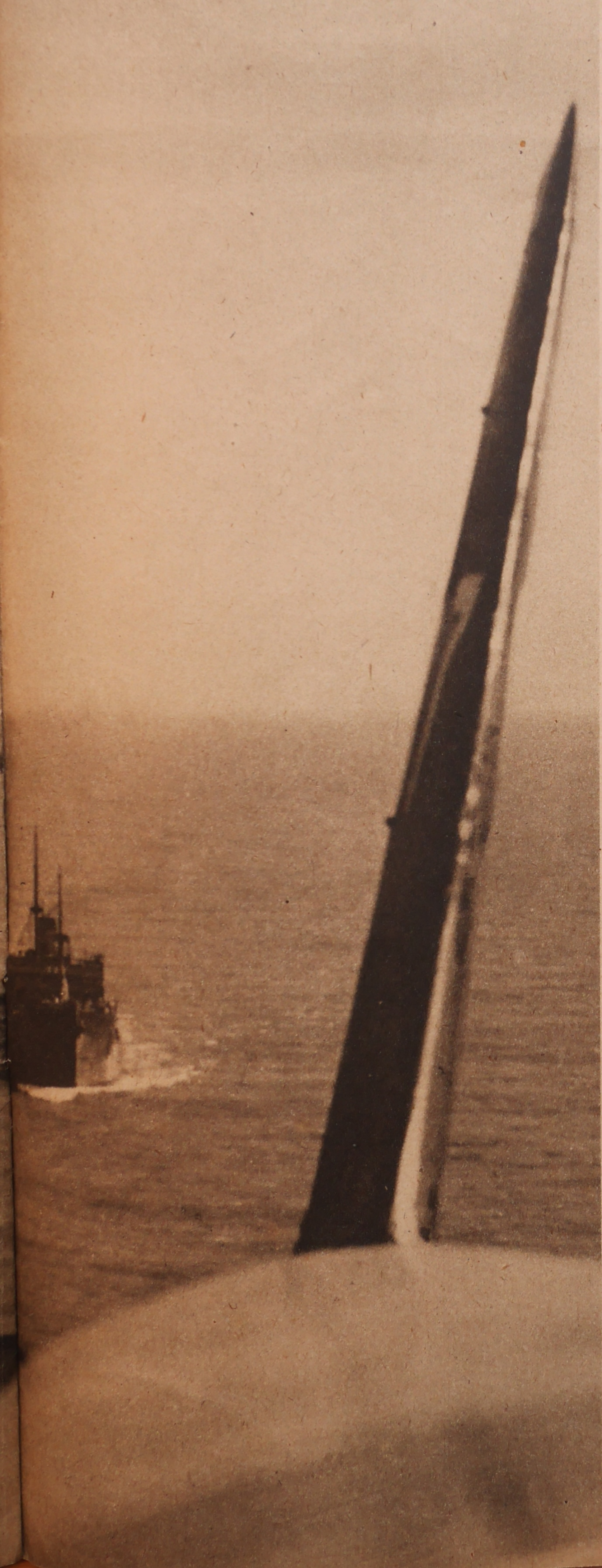
航空局　宮本晃男



神風號は昭和十二年四月六日東京ロンドン間の亞歐聯絡飛行の壯途につき一万五千三百五十七キロを九十四時間十七分五十六秒で翔破し日本として最初の新記録を樹立した

撮影　朝日新聞社

インド洋上 既に敵影なく

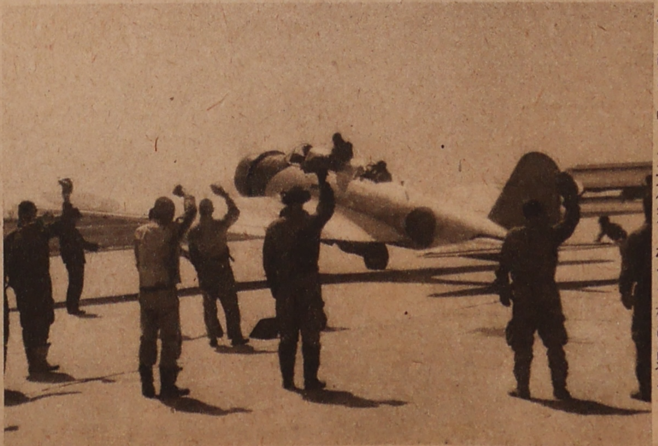


四月五日からセイロン島ツリンコマリ及びコロンボ兩軍港を主な目標として行はれたわが海軍のインド洋作戰はハワイ眞珠灣の强襲にも比ぶべき大膽果敢な『體當り』戰法であつた。その四月九日までの戰果は大本營發表のやうに、英甲巡二隻、同航母一隻を擊沈、同飛行機百二十機を擊墜炎上させた赫々たるものであつた

この一戰において、わが方がインド洋方面の英海軍兵力に與へた徹底的な打擊は、單に軍略的な意味にとゞまらず、一時は妥協成立を思はせた英印交渉を急轉決裂に導き、クリップスに倉皇として歸國のやむなきに至らしめる政治的な波動を描いたことになつてみてもわかるやうに、今後英・印に與へる政治的影響は實に測り知れないものがある

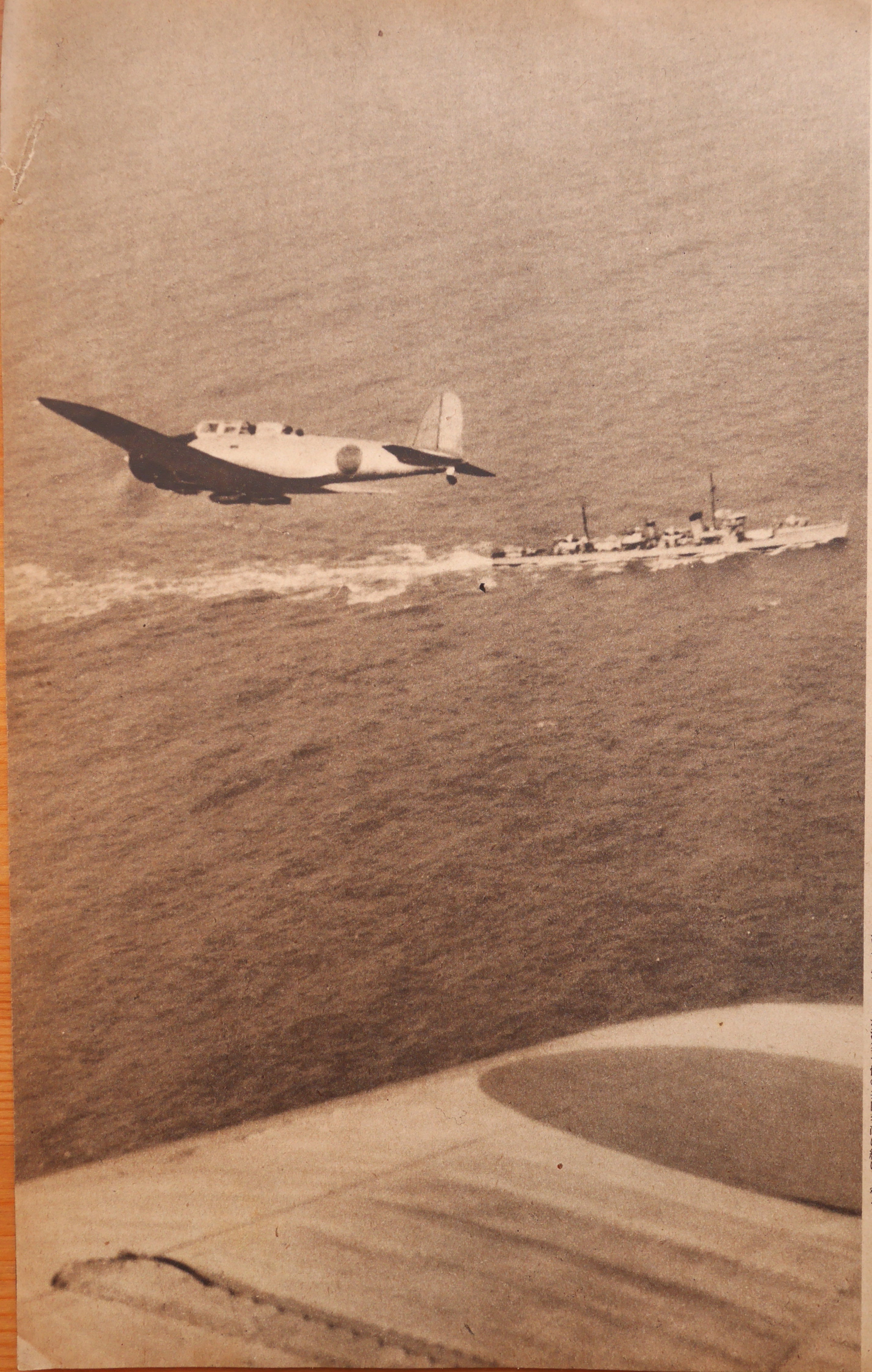
かくして三百餘年の長い間、インド洋の制海權を握り、インドを寶庫として飽くなき搾取を續けてきた英國は、いまや皇軍進擊の前に、インド洋艦隊の主力を失ひ、またセイロン島の軍事基地を失ふことによつて、敵が最後の基地としてたのむボンベイを丸裸にさらし、完全にインド洋から敗退するのやむなきに至つた

⇦ わが輸送船團の行手を阻む敵艇を打ち沈める爆彈が、整備員と搭乘員の共同勞作で裝備される――〇〇基地――



⇦ 爆彈はしつかと機腹に、エンジンは好調、搭乘員の呼吸はピッタリと合つた『行くぞ』『頑張れよ』―重大任務を帶びて機は出發する

撮影 海軍省



⇨海鷲の護衛と誘導によつて、わが船團は○○めざしてインド洋を進む

⇦東は五千浬距るアメリカ西海岸に、いままた西は五千浬のインド洋上に、わが海軍は燦とした不滅の偉勳を打樹てた。インド洋上、堂々とわが海空一體の共同索敵は續けられる

⇨舟艇を降りるや飛沫を蹴つてアンダマン島に敢然上陸

インドの鼻先に日章旗

アンダマン島攻略

インド洋初の作戦たるアンダマン島攻略戦は三月二十三日、インド洋の曉闇を衝いて突如決行された

これより先、わが堂々たる輸送船團は精鋭なる護衛艦に嚮導されつゝインド洋の波濤を蹴つてアンダマン群島のロス島に現はれ、わが海軍特別陸戰隊の精鋭は闇をついて全員舟艇に乗り、果敢なる上陸に成功、忽ちにして全島を席卷、こゝにインド洋初の軍艦旗が飜つた

ロス島にはアンダマン政廳があり、東西約千二百五十メートル、南北約五百メートルの小島であるが、戰争前まではアンダマン群島の政治機關が存在してゐた

アンダマン島南部、ポートブレアには群島總人口の八十パーセント二万人が住んでゐる。元來アンダマン島はインド方面の罪人の流刑地であつて、その住民ほとんどが罪人で、ポートブレアには大きな監獄がある

住民中白人十一名、混血十二名、他は黒人である。産業は林業を主として、チークその他の林業が盛んであり、風光明媚な土地として有名である

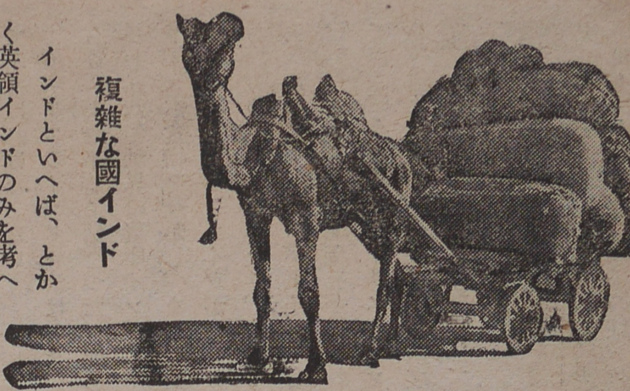
⇨ロス島政廳前に軍艦旗掲揚

⇨不意を喰つて英人はその場に捕へられた

撮影 山端海軍報道班員

新戰場辭典

インド



複雜な國インド

インドといへば、とかく英領インドのみを考へ易いが、嚴密にはこれまでイギリスがインド帝國の名の下に統治または支配してゐる全地域を含み、總面積二百五十二万二百九十九平方キロ、英本國の十七倍に相當し、このうちの五割五分がいはゆる英領インド諸州であり、他の四割五分はインド六百有餘の土侯諸國である

いまインドを地勢の上から眺めてみると、著るしい特徴をもつた三つの地域に分けることができる。即ち、その一つはインドの全形を支配してゐる三角形のインド半島、他の一つは海拔八千八百四十八メートル、世界最高峰として有名なエヴェレスト山を中心として東西二千四百キロにわたるヒマラヤの大山地、最後の一つはこの二つの間に挾まれてインドの富源をなすといはれるガンジス、インダス兩河流域のいはゆるヒンドスタン平原である。このうちヒマラヤ山地はインドの北部一帶に連なる大障壁を形造り、南部平原地帶の氣溫を適當に緩和するとともに、昔からインドとアジア本土との交通を二分する役目を果し、この結果インドの社會に幾多の特異性を育て上げてきたのである。

もちろんかうした地理的な理由からばかりではないが、インドは極めて複雜怪奇な國で、一口にインドといつても日本とかドイツとかいふ呼び名から聯想する純一國家と同じ考へ方でインドに接することは大きな誤りである。なぜならインド帝國といふもののなかにはそれぞれに獨立した宗教、種族、職業といふ各社會が含まれてゐるのであつて、その各社會もまた凡百の獨立した單位に分けられてゐるからである

數百もある種族の數

試みにインドの種族を擧げるならば、これを大雜把に區別してみても、モンゴル・ドラヴィディヤン種、アリヤン・ドラヴィディヤン種、ドラヴィディヤン種、モンゴル雜種、トルコ・イラニヤン種、インド・アリヤン種、スキト・ドラヴィディヤン種の七種があり、もしこれを細別するならば數十、數百の種類にも分れるであらう。從つてインドに行はれる言語の種類も極めて雜多であつて、現今全インドで使用されるものは實に二百二十餘種といはれ、他方郵便局などで使用を公認されてゐるものだけでも七十餘種といはれてゐる。それらのなかで最も廣く使用されてゐるものはヒンドスタニー語で全人口の三分の一以上までがこれを使用してをり、大體においてインドにおける標準語と見做すことができよう。しかし、全國的に法定語となつてゐるのは英語であつて、インド議會においても英語が公用語とされてゐるため、インドの知識階級は概ね英語に通じてゐる。次ぎに宗教についてみても、これまた人種、言語の錯雜してゐるのに比例してその種類はまことに多く、このためインドは宗教によつて亡び、宗教によつて維持されるとさへいはれる程である。その主なるものはインド教、回教、佛教、原始教、キリスト教、シーク教などであるが、このうちインド教徒は全印總人口の六割八分を占め、その分布は殆んど全インドに及んでゐる。また回教徒は總人口の二割二分を占め、即ちインド教徒と回教徒のみによつて全人口の九割が占められてゐるわけである

さらにそれが、インド教社會

大東亞戰爭日誌

二十七日 ●蘭印軍スマトラ總指揮官オブヒアーカー少將は本日クタラジアにおいて陸軍に降伏、ここに赫々たる戰果をもつて全スマトラを戡定

三十一日 ●海軍はジャヴァ島西南のクリスマス島を占領

——四月——

三日 ●比島方面陸軍は神武天皇祭を期しバタアン半島要塞に據れる米比軍に對し一齊に總攻擊を開始し戰況有利に進展中

五日 ●海空軍はコロンボを急襲し敵五十七機を擊墜、港内敵船十六隻を擊破、飛行機格納庫三棟、修理工場一棟その他軍事施設を大破または炎上 ●海空軍はセイロン島南方三百數十海里洋上において高速避退中の英甲巡ロンドン型一隻およびコンウォール型一隻を發見、忽ち兩艦を擊沈 ●ベンガル灣に進攻せる海軍は英國船二十一隻約十四万トンを擊沈、七隻約四万トンを大破 ●海軍はインド東岸の英國重要軍事據點ビザガパタム、コカナダ等を奇襲攻擊

六日 ●大東亞戰爭開始以來三月末日までにおける支那方面の綜合戰果發表
(一)主要なる作戰三十回 (二)遺棄死體五万八千三百十三、俘虜一万八千四百五十三 (三)鹵獲品、飛行機五機、戰車十七輛、自動車千四百七十輛、鐵道車輛三百九輛、魚雷艇二隻、各種火砲二百一門、重輕機關銃千三百五十三挺、小銃一万二千四百四十三挺 (四)擊墜破飛行機三十機 (五)擊沈破艦船 砲艦四隻、船舶十三隻 (六)我軍の損害 戰死二千五百三十六名、戰傷六千三百八十二名

七日 ●北部および中部スマトラにおいて獲得せる俘虜發表
蘭印兵約一千、英國兵約九百、その他約千二百、合計三千百(うち英國兵はシンガポールより乘船逃亡中船舶擊沈せられスマトラに辛うじて上陸せるものにして航空將校中佐以下三十名を含む)

八日 ●蘭印方面陸軍の三月二十五日までにジャヴァ島内において收めたる戰果詳細發表
(一)俘虜八万二千六百十八(内譯、オランダ軍六万六千二百十九、オーストラリア軍四千八百九十、英國軍一万六百二十六、米國軍八百八十三) (二)鹵獲品、飛行機百七十七機、火砲九百四十門(内譯、重砲百八、野山砲百六十一、高射砲八十三、機關砲、速射砲、迫擊砲等五百八十八) 重輕機關銃四千二百二十八挺、小銃および拳銃八万七百七十八挺、照空燈五千百五十三臺、彈藥、火砲彈藥百七十二万八千五百八十五發、機關銃および小銃實包八千九百七万千八百二十發、爆彈三万六千箇、車輛、戰車、裝甲車、特殊車輛等千五十九輛、自動車九千五百輛、鐵道車輛七千百八輛、藥物十万人分の約一箇年分 (三)我軍の損害、戰死八百四十五名、戰傷千七百八十四名

九日 ●海空軍はツリンコマリを强襲し敵四十一機を擊墜、四機を地上炎上、さらに英乙巡リアンダー型一隻を大破、敵船大型二隻、小型一隻を擊沈、海軍工廠、兵舍、油槽群を爆破、飛行場施設を壞滅 ●海空軍はツリンコマリ東南方洋上を南下中の敵航空母艦ハーミスならびに驅逐艦一隻を發見、直ちにこれを攻擊擊沈、また空軍の一部は附近航行中の敵船四隻を擊沈。なほ同方面作戰中敵十五機を擊墜 ●本作戰中潜水艦は敵船七隻を擊沈、一隻を大破 ●コロンボおよびツリンコマリ方面作戰において我軍は十七機を失へるほか艦艇に微塵の損傷なし

十一日 ●比島方面陸軍は堅固なる要塞に據れる米比軍主力を擊滅、バタアン半島を完全に攻略

の四種姓階級制度になると、インド人をバラモン(僧侶)、クシャトリヤ(武士)、ウェシャ(平民)、スードラ(奴隷)の四階級に分け、同じインド教徒であつても他の階級との結婚はもとより同座、食事をすることさへ禁じられてゐる有樣である

搾取と壓制の歴史

かういふ點でインドは支那よりも更に複雜で、規模の大きい獨立した小國家の雜然とした機械的な集りであるといへる。そしてこのバラ〳〵の複合國家を一つのインドとしてまとめあげてゐるのが他ならぬイギリスの魔の手である

從つて、もしインドの實體をつかまうとするならば、この雜多な社會の上にイギリスの植民地といふ政治的な支配の外被をかぶせてみなければならない

イギリスのインド統治はいまから百八十餘年前に始まつた。即ち一七五八年世界の寶庫インドにイギリスが食指を動かし、まづ手始めにロバート・クライヴがベンガル地方の英領知事となり、次いで一八五八年イギリスが東インド會社からインドの支配權を手に入れて以來、今日までイギリスのインド統治は文字通りインド人に對する搾取と壓制の歴史に終始してゐるのである

かりにいまインド人の家屋を例にとつてみても、それはまるで燕の巣も同じである。椰子の柱、竹の梁、椰子葉の屋根、四方の壁は一尺ぐらゐの厚さに泥で固め、窓が少なく入口は極めて小さい。彼らの勞働賃金は食事自辨で大人の男一日四十錢位が通り相場である。從つて榮養のある食物をさへ攝ることはできず、勞働能率は低下する一方である。勞働能率が低下すれば賃金は增加しないといふ工合にめぐりめぐつて進んでいつたら、インド人の將來は一體どうなるだらう。宏壯優麗なバラモン教殿堂の下に、咽ぶやうに櫛比する土着民の陋屋にこそイギリスの搾取と壓制とを如實にみることができようではないか

名を與へ實を取る

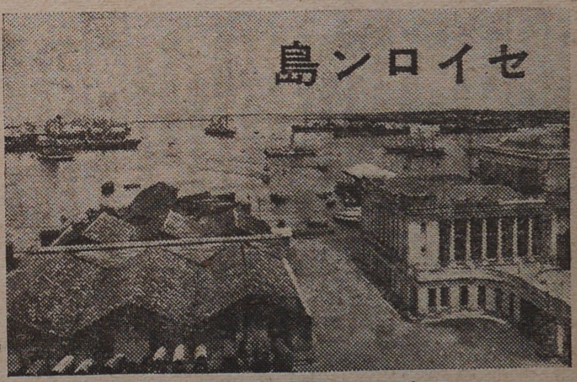
現在インドの政治機構は、第一次大戰の直後、幾多の英印紛爭の結果、派遣されたサイモン現地調査委員會の報告を基礎として出來上つた新統治法によつてゐるわけであるが、實はこの新統治法も第二次大戰の勃發によつて同法の基調をなしてゐるインド聯邦制結成に關する部分が大戰終了まで延期されることとなり、從つて實質的には依然として一九一九年に實施された舊統治法によつてゐるといつても過言ではない。またこの舊統治法といふものも、表面ある程度の自治を許してゐるやうにはみえるが、實はインド總督がインドにおける行政機關の最高首腦者として廣汎な權限を振り廻し、インド人官吏の陰にあつて彼らをあやつりながら巧妙に搾取と壓政とを續けることのできる仕組になつてゐる

たとへば現在インドには上下兩院から成るインド議會があるけれども、その選擧資格は極度に制限され、官民半選である上に、重要法案はすべて總督の內諾を得ぬ限りは議會に提出することが許されてゐない。かうした微力な議會に對して總督は、たとへ議會に法案が提出されても自分の意思一つでそれを死案とすることができるし、また事實上、あらゆる財政政策上の運營權をも議會から奪ふことができるのである。從つて英本國はインド總督を通じてどんな身勝手な法律をも發布することができるわけで、インド議會も實質は骨を拔かれた形式的な存在でしかないわけである。つまり一口にいへばインドの現行政治機構は『名を與へて實を取る』イギリスの奸策につきてゐるといへよう

虐政へ血の反抗

以上のことを念頭において、現在に至るまでのインドの反英獨立運動を振りかへつてみると、歴史に最初の反英運動として殘つてゐるのは約六十年前の一八八五年、ボンベイに數名のインド青年が會合してイギリスの壓迫の堪へ難いことを語り合つた事件であらう。もちろん彼らはその二十年後の日露戰爭に日本が勝利を得るまでは東洋人の力量を知らなかつたのである。日露戰爭における日本の勝利は少數のインド青年に東洋人とし

セイロン島



―コロンボ港―

四月五日、わが海軍部隊の攻擊を受けたセイロン島は、インド洋上にあるイギリス最大の軍事據點で、インドの南東に當り、これと最短距離四十哩の地點にある。面積四万七百六十九平方キロ、マンゴーの葉に似た島である。北西岸のマナールとインド本土の南東にあるラメシワラとの間はアダム橋と呼ばれる淺い砂堤で繫がれ、マナールからはこの線に沿つてインド本土まで鐵道が通じてゐる

中央部にはアダムス・ピークの峰をめぐつて千八百メートル乃至二千四百メートルの高峰が群がり聳え、周圍の低地は平原をつくつてゐる

セイロン島はイギリスの直轄植民地の一つで、インドとは土地が至つて接近してゐるにもかゝはらず、政治的には直接關係なく、セイロン政府の最高首腦部である總督の下に立法、行政の二部が置かれてゐる

人口は一八七一年の調査によると二百四十万五千五百七十六人で、このうち全人口の四分の三を占める人種はシンハリース人である

宗教は佛教が最も盛んで、佛教徒はシンハリース人の大部分を占めてゐる。このほかにもヒンズー教、回教、キリスト教などがあるが、セイロンではインドのやうにそれほど階級思想は喧しくない

今日セイロン島で最も重要な產物は茶、ゴム、椰子、米などであるが、なかでも茶は海外輸出品の主要なもので、一九三二年の輸出總額は二万五千三百万ポンドといはれる。ゴムの栽培の發達も近年目覺しく、一九三二年には一億一千百二十四万二千ポンドが輸出された。またセイロンに最も適した植物の一つは椰子で、ことに乾椰子は第一次大戰後にはかにその產額を增してゐる

わが空襲に虚を衝かれたコロンボはセイロン島の首府で、同島の西南岸に位し、政治、經濟、文化、交通の中心地であるばかりでなく、インド洋の門戸を扼して世界交通上實に重要な位置を占めてゐる。即ち南はオーストラリア、南アフリカへ、東は日本、支那、ビルマへ、西はスエズを經て歐洲各國へ、さらにインド大陸兩岸間の交通の要路に立つてゐるのである。その人工の限りを盡した港灣施設は世界的に有名である

東北岸の軍港ツリンコマリとともに、この重要な港灣埠頭地區を叩き潰されたイギリスの痛手は大きいものであるにちがひない

⇦近代工業になくてはならぬゴムはまたセイロンの主要な産物で、その大半はアメリカに輸出されるゴム樹の皮に傷をつけて樹液を採る人たち

ての自覺を促したものであり、彼らの信念を一層高めたであらうことは容易に想像される。果して一九〇六、七年頃からは國民會議派のモットーも單なる反英からインド自治に代り、盛んに街頭デモが行はれた。イギリスが鎭壓に機關銃を使用しはじめたのはこの頃からである

ついで一九一四年第一次大戰の勃發は、インドの民族運動に絶好の機會を與へ、翌一九一五年にはラホール、ベナレス、マンダレー等にインド獨立の烽火があげられたものである。しかし一九一七年八月、イギリスの兵站基地であるインドの反抗を恐れて、戰後にその自治を與へることを約束したイギリスのモンターギュ宣言は、これらの反英運動を鎭壓したばかりでなく積極的な對英援助をさせるやうになり、大戰中インド兵の對外出兵數は百二十万、對英軍資金援助は三十億圓に上り、九十万人の戰死傷者を出したのである。だが大戰終了後この血の奉仕に對する報酬としてインド民衆に與へられたものは、民族運動の彈壓を目的として正式の手續はなくとも人民を逮捕し公判に附する權利を政府に保障した、一九一九年のローラット法にほかならなかつた

かうした陋劣なイギリスの欺瞞に對してインド民衆が默過する筈はなく、全印三億七千万の民衆はつひに非協力運動の宣言を爆發させて、それと抗爭するやうになり、イギリス人のインド統治はこゝにおいて機關銃のみならず飛行機による爆撃をも必要とするに至り、クジュランワラ村に襲撃した一機は五百人を即死させ、千五百人を負傷させるといふ大悲劇を惹き起したのである

しかしイギリスの虐政に血の反抗をつゞけるインドの民族運動は、しばらくもやむことなく、その後もしば〳〵激しい鬪爭が繰返されてきたのであるが、インド政府もこれに對して物凄い攻撃の矢を向けたことはいふまでもない。かくてイギリスがドイツに宣戰を布告した翌一九四〇年の大量投獄、逮捕を最後に、一時ネール、ボースなどの急進派に率ゐられた國民會議派の指導權は再び穩健派のガンジーに移つて、運動はこゝに一應の結末を告げた形となつた

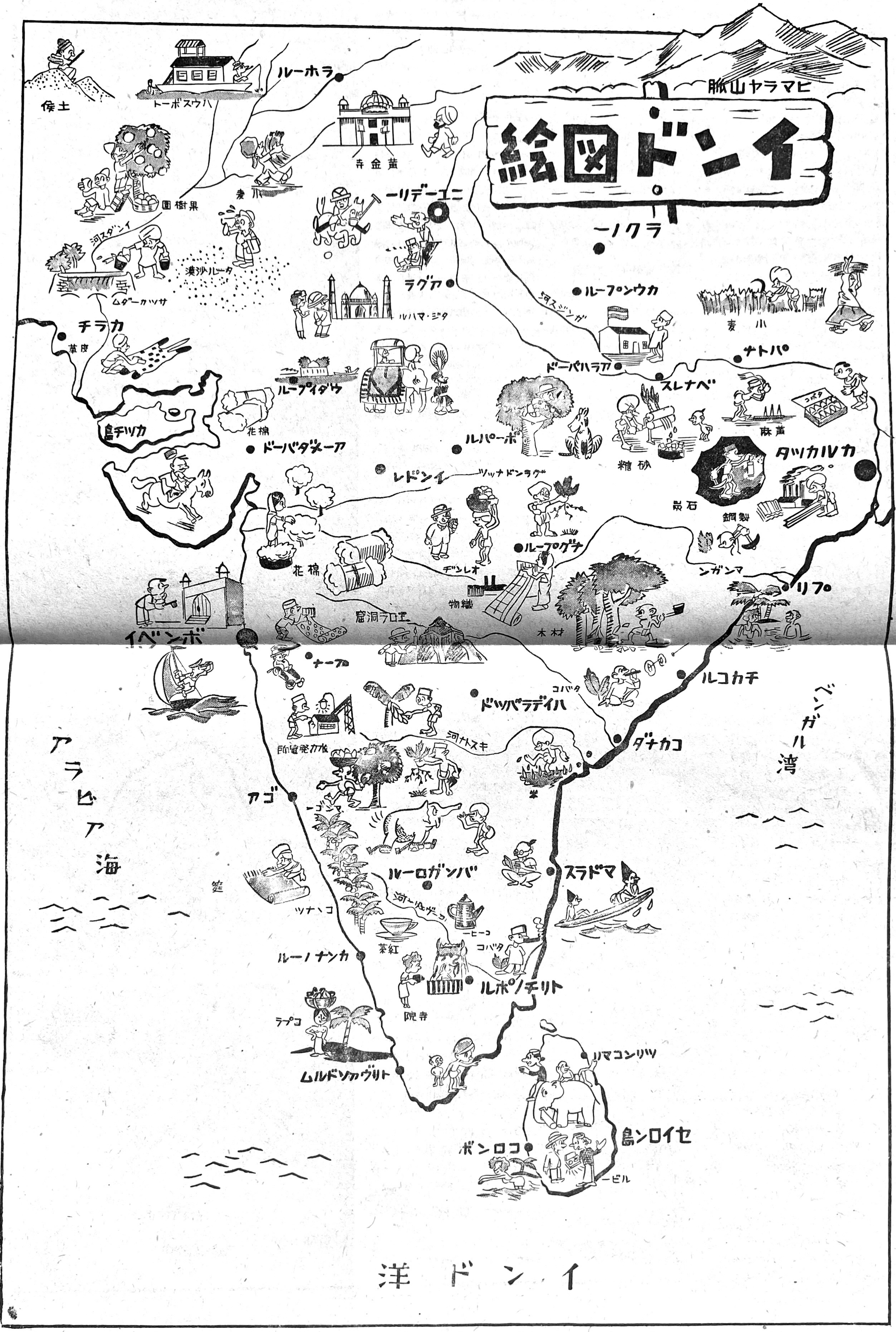
獨立を妨げる國內對立

このやうにして、インドの民族運動はつねにイギリスの暴虐な機關銃の前に壞滅されてきたのであるが、インド自體のなかにもまた民族運動の芽を摘み取り、獨立を不可能にする幾多の條件のあることは否定できない。即ち宗教、種族、職業の相違に基づく社會の複雜性であり、それによる民族運動の不一致である。そのなかでインドの政治面に現はれるものに三つの有力な社會がある。全印總人口三億七千万の六割八分を占めるインド教徒、それを代表する國民會議派、同じく二割二分を占める回教徒、その代表である回教聯盟、同じく二割四分を占める土侯國がそれであり、これらは悉く異つた要求をもち、對英態度をまた異にするのである。イギリスの乘ずる隙がこゝにあり、インド獨立の不可能性もまたこゝに發してゐるのである

たとへば牛はインド教徒にとつて神聖冒すことのできないものであるが、これがたま〳〵回教徒の祭壇に生贄となることがある。インド教徒はこれをブラーマの神に對する最大の侮辱として回教徒への復讐を誓ふといふやうに、回教、インド教對立の原因はかうした宗教による習俗の相違に基づくものであるが、一九三一年カウンプールにおける衝突は死者四百名、負傷者千二百名、燒失家屋五百餘戸といふ大鬪爭で、回、印の民族運動合同が到底成立しないことを現實に證明したものであるともいはれてゐる。第二次大戰勃發直後、國民會議派が自治八州の總辭職を決行して反英鬪爭を展開した時、回教聯盟では『インドが國民會議派から解放される日がきた』と宣言し、盛大な政治示威を行つたものであるが、回教聯盟の立場はこのやうに對英鬪爭に向けられるよりも、むしろ對インド教、即ち國民會議派への抗爭に主力が注がれたのであつた。しかし回教社會の代表者ムハメット・アリが叫んだ『神の支配する世界においてはわれ〳〵はあくまで回教徒であ

インド図絵
ヒマラヤ山脈
土侯
ハウスボート
ラホール
果樹園
インダス河
サッカーダム
タール沙漠
麦
黄金寺
ニューデリー
アグラ
タジ・マハル
カラチ
皮革
カッチ湾
ラクノー
カーンプール
ガンジス河
アラハバード
ベナレス
パトナ
カルカッタ
黄麻
石炭
製鋼
砂糖
アーメダバード
綿花
ボーパール
インドール
ナグプール
オレンヂ
ボンベイ
エロラ洞窟
織物
プーナ
木材
マンガン
ハイデラバード
マドラス

ボンベイ
プーナ
アラビア海
ゴア
水力発電所
ハイデラバッド
キストナ河
カンナノール
バンガロール
マドラス
コカナダ
チカコル
ベンガル湾
トリチノポル
トリヴァンドラム
コプラ
紅茶
コーヒー
タバコ
寺院
木材
米
コロンボ
ツリンコマリ
セイロン島
ルビー
インド洋


インド絵図
ヒマラヤ山脈
土侯
ハウスボート
ラホール
黄金寺
果樹園
小麦
ニューデリー
ラクノー
インダス河
タール沙漠
サッカーダム
アグラ
タジ・マハル
カラチ
皮革
カッチ島
ウダイプール
棉花
カウンプール
ガンジス河
アラハバード
小麦
パトナ
ベナレス
黄麻
タバコ
砂糖
ボーパール
カルカッタ
アーメダバード
インドール
グランドナッツ
石炭
製鋼
ナグプール
オレンヂ
マンガン
プリ
棉花
織物
木材
ボンベイ
エロラ洞窟
プーナ
ハイデラバッド
タバコ
チカコール
水力発電所
キストナ河
コカナダ
米
ゴア
マンゴー
バンガロール
マドラス
筵
コーヒー
紅茶
カナノール
タバコ
トリチノポル
寺院
コプラ
トリヴァンドルム
セイロン島
トリンコマリ
コロンボ
ルビー
アラビア海
ベンガル湾
インド洋

⇦食物を賣る店、無雜作に並べた板の上には熱帶の果物と並んで雜穀類が積上げられてゐる

⇦インドは世界一の茶の產地、色こそ黑いがいづこも同じ、若い娘さんたちの茶摘み姿には風情がある

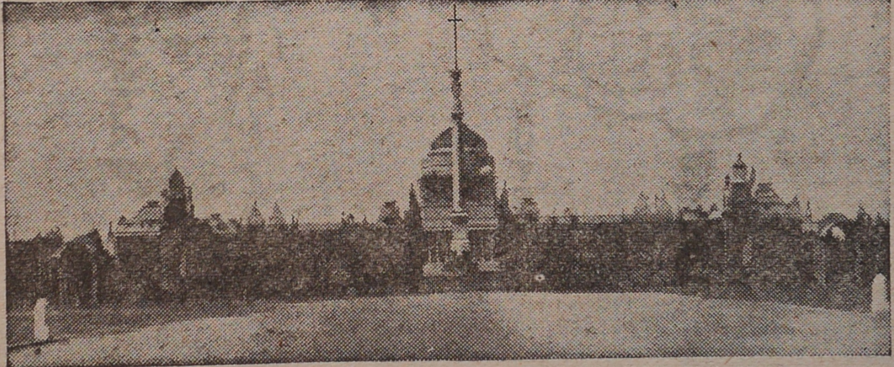
るが、ことインドに關してはあくまでインド人でなければならない』といふ言葉は今後の回教の動向を示唆するものとして注目に値しよう

英の傀儡土侯國

なほこゝにもう一つ厄介な存在はインド六百有餘の土侯國である

第一次大戰當時、眞先に立つてイギリスに忠誠を誓つたのもこの土侯國であり、また今次の大戰勃發に際しても三百餘國の土侯が參戰を表明して獨立運動側へ大きな脅威を與へてゐるのである。彼ら土侯はイギリスに忠誠を誓ふことによつて己れの堡壘を守ることを保障され、民衆を無條件に搾取することを許されようとするのである。かつて、元インド總督アーヴィンが或る土侯國を訪問した時、三百五十万圓に上る接待費を使用し、祝宴費だけでも十三万圓に上つたことなど、いかに土侯國が、イギリスの機嫌をとることに汲々としてゐるかを物語つてゐる。從つてイギリスの土侯國に對する方針も『イギリスのインド支配における堡壘であり、要塞である』として、彼らの專制を許し獨立運動の抑壓に重大な役割を課してゐるのである。インドの獨立は土侯國の崩壞を意味し、土侯專制の終焉である。獨立運動反對はイギリスの利害と一致する。かくて、褐色の專制君主と白色の專制君主とはいまやいよいよ密接な友好關係におかれようとしてゐるのである

自由、獨立を叫ぶインド民族運動が、インド自體に內藏するからしたさまざまな矛盾を解決できないところに民族運動への重大な障碍があるわけである



⇨ニューデリー市に傲然とふんがまへるインド總督官邸。英國の魔の手はこゝから全インドに伸ばされてゐるのだ

イギリスの兵站基地

しかしこのやうにインドの民衆が束の間でもイギリスの羈絆から脱しようと試みてゐるにもかゝはらず、なほイギリスがどんな犧牲を拂つてでもこれを把握しようと努力してゐるのはなぜだらうか。それは一言にしていへばインドが豐富な天產資源を包藏するからにほかならない。豐かな資源をもつ絶大な魅力、その前にはさすがシルクハットのイギリス人も無智なインド人の手をとつて共にぬかづくべき運命をもつてゐるのかも知れない

インドの產業を語るにあたつて、まづ氣のつくことは、インドは雨の國であるといふことである。實にインドはナイルによつて生命をつながれてゐるエジプトと同じく、全く降雨の多寡によつて支配されてゐるのであつて、モンスーンの訪れの遲いか早いかは直ちにインドの經濟狀態に重大な影響を與へるのである。インドは北回歸線を境にしてその北半は溫帶に、その南半は熱帶に屬してゐるのであるが、しかしそのためにインドの氣候は二分されず、ヒマラヤ山地から南へかけての全地域は一樣に熱帶的季節風に見舞はれてゐるので、いつも甚だしい高溫をもちつゞけてゐる

即ちインドの氣候は大體において乾季と濕季とに分けられ、乾季は十二月から五月へかけての頃で、冬期季節風といはれる乾燥した大陸風が殆んど全インドを襲ひ、この期間は殆んど降雨をみない。この乾季に反して濕季は大體

に五月から十一月頃までの間で、濕氣にとむ西南季節風がとくに六月から九月まで全インドを襲ひ、一箇年の雨量の九割はこの期間に齎らされるのである

豐かな農産畜産物

さてそれではインドの産業にはどのやうなものがあるか、その主なるものは先づ農産物と家畜であらう。インドは古來その國土を唯一の農業に整理してゐる國であつて、いはゞ『土壤』に生きてゐる國である。インドにおける六十万の農村は河川の流域に、或ひは海岸の低地にいたるところに分布して、原始的な耕耘方法をとつて强く土に融け着いてゐるのである。從つてインドにおける米の生産高は一九三三年には四千六百三万キロトンで世界の五割二分を占め悠悠第一位に立つてゐる。また小麥の生産高は一九三三年に九千六百万キロトンで世界第三位を占め、今日世界における小麥の重要な輸出國の一つに數へられてゐる。次ぎに棉花はどうかといふと、これもまたアメリカ合衆國に次いで世界第二位の生産高を占め、一九三三年には九十万キロトンを出して世界總生産高の一割六分をさらつてゐる。なほ甘蔗にしても黃麻にしてもまた茶にしても何れも世界第一位か二位の大生産高を示してゐるほか、インドはまた素晴らしい大家畜群の所有者でもある。中でも牛と緬羊との數は著るしい。特に牛の頭數は一九三二年には一億二千二百万頭でアメリカ合衆國の二倍以上であり、家畜で知られてゐるアルゼンチンの四倍に相當し、世界第一位を占めてをり、また緬羊にしても三千五百万頭で世界第七位に立つてゐる。イギリスが垂涎してインドを狙ひ、現にその經營に骨身を碎いてゐる理由もつまりはこゝにあるわけである

三大都市の素描

以上のやうに、インドはもともと農業國であつて、總人口の九割は農村で占められ、インドには人口の都市集中といふ現象は餘り顯著でない。しかし大都市は割合に多く十万人以上のものは三十餘を數へることができる。このうち最も主要なものはカルカッタ、ボンベイ、ニューデリーの三市であらう

カルカッタ市はベンゴール州の首府で人口約百四十八万、英領中ロンドンに次ぐ大都會である。カルカッタが今日の盛況をみるやうになつたのは、東インド會社創立以來、鐵道や河川を利用してこゝを內地物産の集散中心地とし、また一方インド東海岸の海外貿易港とするため設備に努力した結果である。ボンベイ市はインド西海岸の要港で、一小島上に建設された港である。人口約百十六万、附近には十に餘る島がある。市街はもと歐洲人によつて建設されたものであるから、インド內地の町と異つてインド氣分は餘り橫溢してゐない。最後にニューデリー市は現在カルカッタに代つて全インド總督の駐在する都である。人口凡そ四十五万、鐵道は五方から集中し、インドにおける政治上の中心となつてゐる

ベンゲットの山に白い塔

陸軍報道班　池田八郎

北部ルソンの山岳中五千フィートの高原に世界的有名な避暑地として知られてゐるバギオ市、これに通ずるベンゲット道路こそ比島日本人の忘れることの出來ないものの一つであらう

この道路はバギオを避暑地にするために計畫され、一九〇〇年から一九〇三年まで滿三箇年の月日と豫算の十倍にも達した百五十万比を費しても工事は遲々として進まず、工事はその半ばにも達しない狀態であつた。そこで比島政府當局では工事を中止するか、豫定計畫を變更するかの議論が盛んに叫ばれてゐたが、いよいよ米國人ケノン少佐を工事主任として迎へ同年六月工事を續行した

工事の容易でないことを察した同少佐は、斷然日本人の援助を得ることに決意して多數の反對を押し切つて、日本から六百餘名の移民を呼寄せ工事の進捗をはかつた。しかし莫大な經費と多數の人數を以てしても出來なかつた天然の要害を、いかに日本人の手になつたとはいへ一朝一夕に出來上るものではなく、不慮の災難に遭つたり、惡疫に罹つたりして斃れたものは實に數百の多きに達した

胸を突くやうな山と山との谷間で、ド、、ドッ、ゴウ〳〵と不氣味な地鳴りが幾度となくした。その都度鶴嘴を振り上げ、シャベルを持つた人達は『あゝ、また地辷りだな』と呟きながら、心配さうに顔を見合はすのであつた。地質が軟弱のため何の前兆もなく全く突發的に山崩れがおこるのであつたが、その度ごとに澤山の人々が谷底にさらはれたり、岩石の下敷になつたりして、或ひは負傷し、或ひは落命したのである。

この工事は人跡まれな谿谷を縫つて進んでゆくので、交通不便と醫療機關の不備とのため、マラリヤ、コレラ、赤痢、脚氣等の惡疫に罹るもの數しれず、かつ百フィートもある綱一本に命を托して急峻な絶壁で岩盤を破壞するためのダイナマイト裝塡中誤つて一命を失つたものも十指に餘る程であつた

朝は蠅の浮いた味噌汁に勇氣を鼓し、夕は綿のやうに疲れた體を溪流に浴し、夜は圓な夢も結ぶことの出來ない天幕にごろ寢して苦難と鬪ひつゞけた邦人たちが、二年の後、全道路の開通を見た時の喜びはいかばかりであつたらう

かくして世界無比の難工事といはれたベンゲット道路は、滿四箇年の日子と工費六百万比を費して一九〇五年（明治三十八年）竣工したのであつた

日本人勞働者約千五百名中、七百人の人命を失ひ、一日二人平均、五十間に一人づゝの尊き我が同胞の人柱は上にこの道路は完成したのである

生き殘つた半數のわが同胞はこの日、抱き合つて慟哭し、全山に骨を埋めた親しい人々の靈にむかつて無限の祈りを捧げた

たうとう、俺たちの手で、お前達の思ひを晴らしてやつたぞ。八百の生存者は、祈り、哭きながら還らない同僚の靈に後髮をひかれながら、ベンゲットの山々に思ひを殘して山を下つていつた

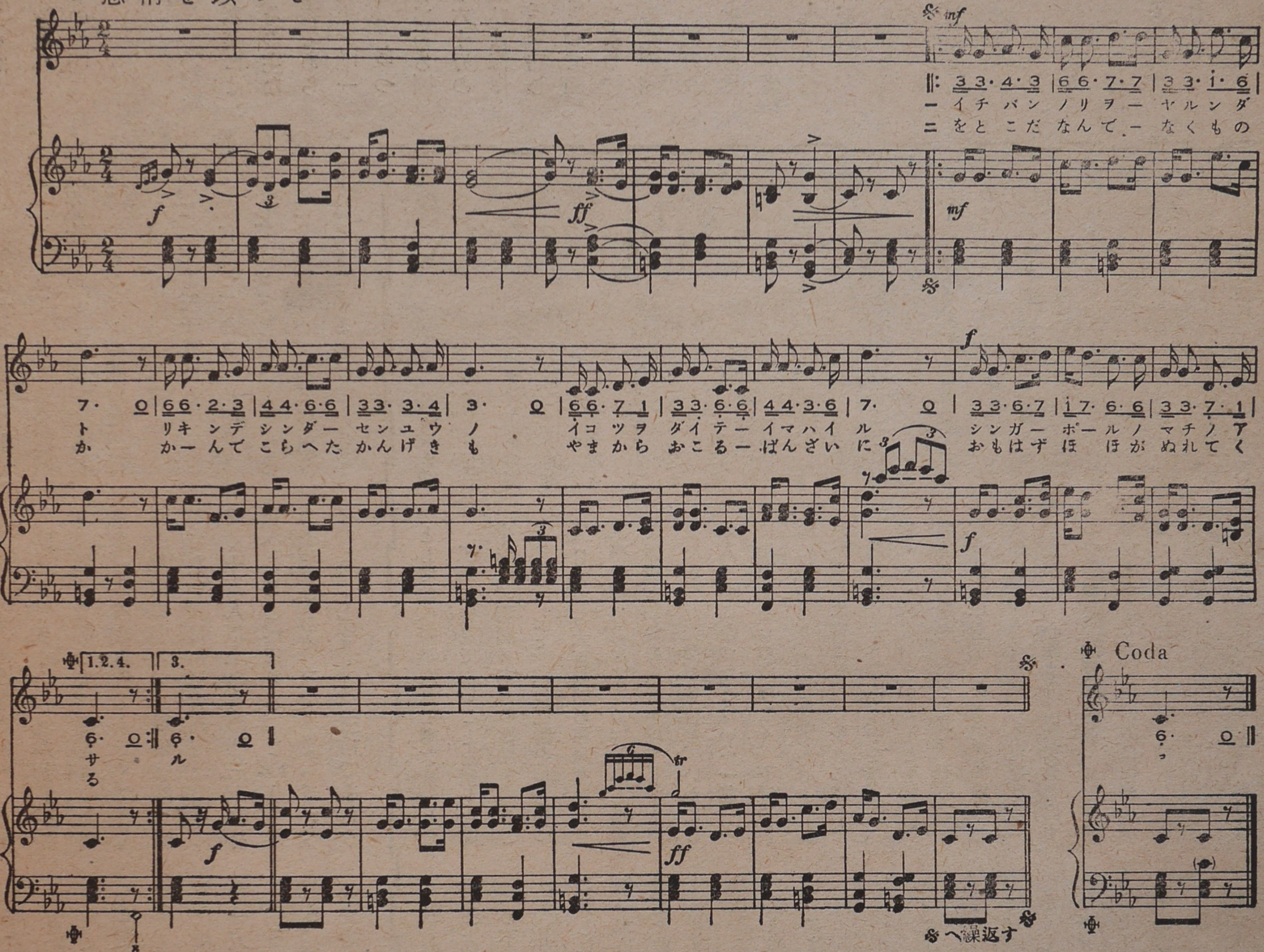
後日、彼等邦人の手によつて、白く美しい塔がベンゲットの赭土の道に、こんもりとした常磐木に圍まれて建てられた。尊い七百の人柱を祭るその塔には『先亡同胞諸靈菩提塔』と墨痕も鮮かに刻まれてある

先輩の諸氏よ、御身等の苦鬪になつたベンゲット道路には、いま翩翻と日章旗が飜つてゐる。先亡同胞安らかに眠れぞかし

遺骨を抱いて

陸軍主計軍曹 逵原 實作詞
海 軍 軍 樂 隊作曲

感情を以つて



(一)

一番乘りをやるんだと
力んで死んだ戰友の
遺骨を抱いて今はいる
シンガポールの街の朝

(二)

男だなんで泣くものか
かんでこらへた感激も
山から起るバンザイに
思はず頬が濡れてくる

(三)

負けずぎらひの戰友の
かたみの國旗を取り出して
雨によごれた寄せ書きを
山の頂上に立てゝやる

(四)

戰友よ見てくれあの凪いだ
マラッカ海の十字星
夜を日についだ進撃に
君と眺めたあの星を

(五)

シンガポールを陥しても
まだ進撃はこれからだ
遺骨を抱いて俺は征く
守つてくれよ戰友よ

櫻花はらりと社頭に散つて

靖國神社春の臨時大祭せまる

大東亞戰爭下、初の靖國神社臨時大祭は護國の忠靈一万五千十七柱の祭神を新たに迎へて四月二十四日から二十八日まで嚴かに執り行はせられる

この盛儀を眞近に控へて靖國神社々頭の昨日今日は、もえ出づる新綠の中に八重櫻美しく咲き匂ひ、さながら英靈の神鎭まる日を待つかのやうである

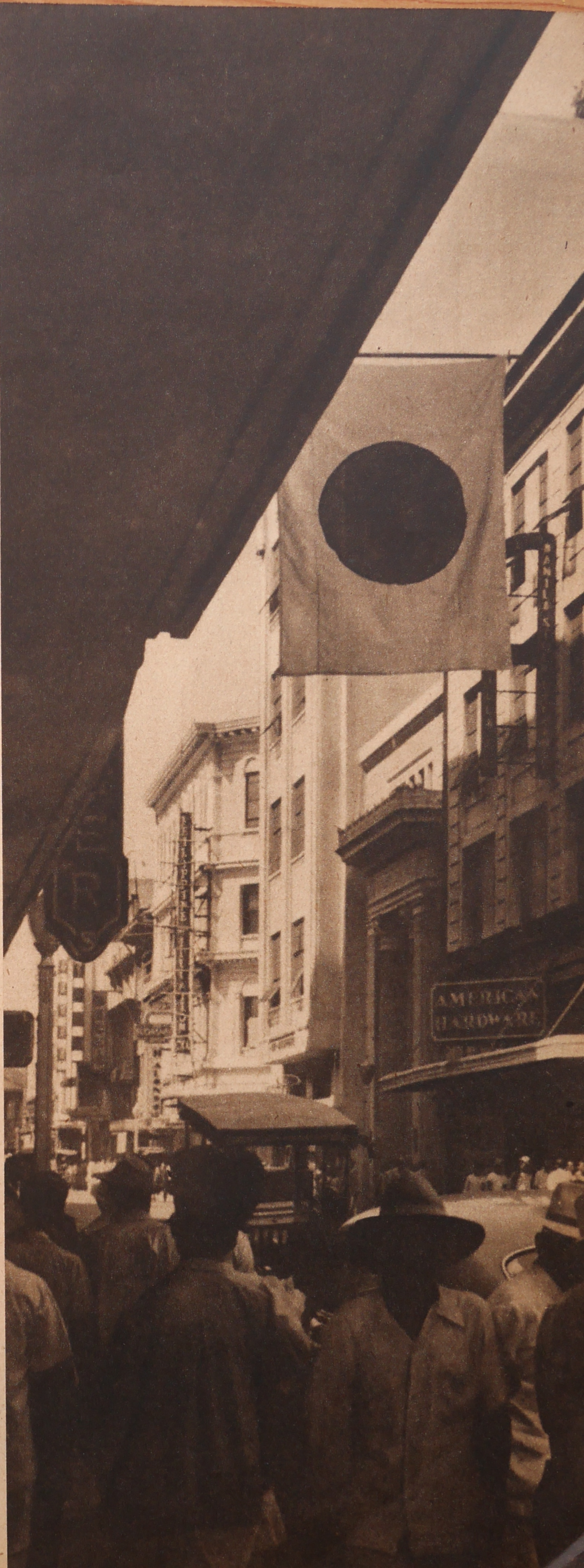
寫眞は、臨時大祭委員長の大任を拜して盛儀の恙なきよう社頭に祈念した及川海軍大將

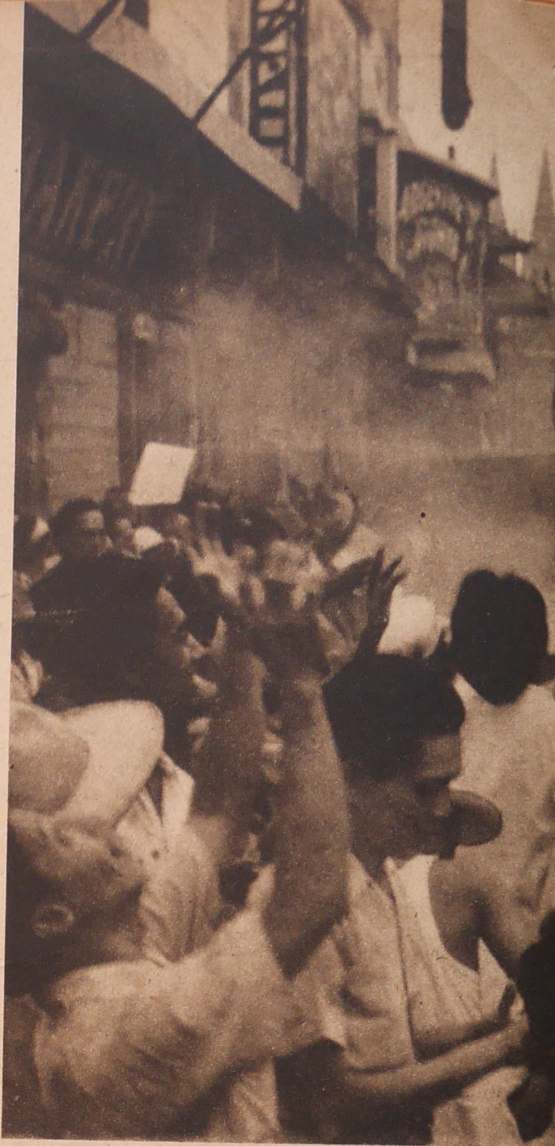
マニラ
大東

⇨ 日章旗のもと、復興したマニラ市エスコルタ街

⇧ 東亞共榮圏は、われらの手で築かう―マニラ市内の傳單並びに布告の撒布

⇩ 大東亞戰爭開始以來、刻々と擴がつてゆく皇軍の赫々たる戰果を地圖によつてマニラ市民に知らせる―マニラ市郵便局前にて





娘は唄ふ 亜の歌

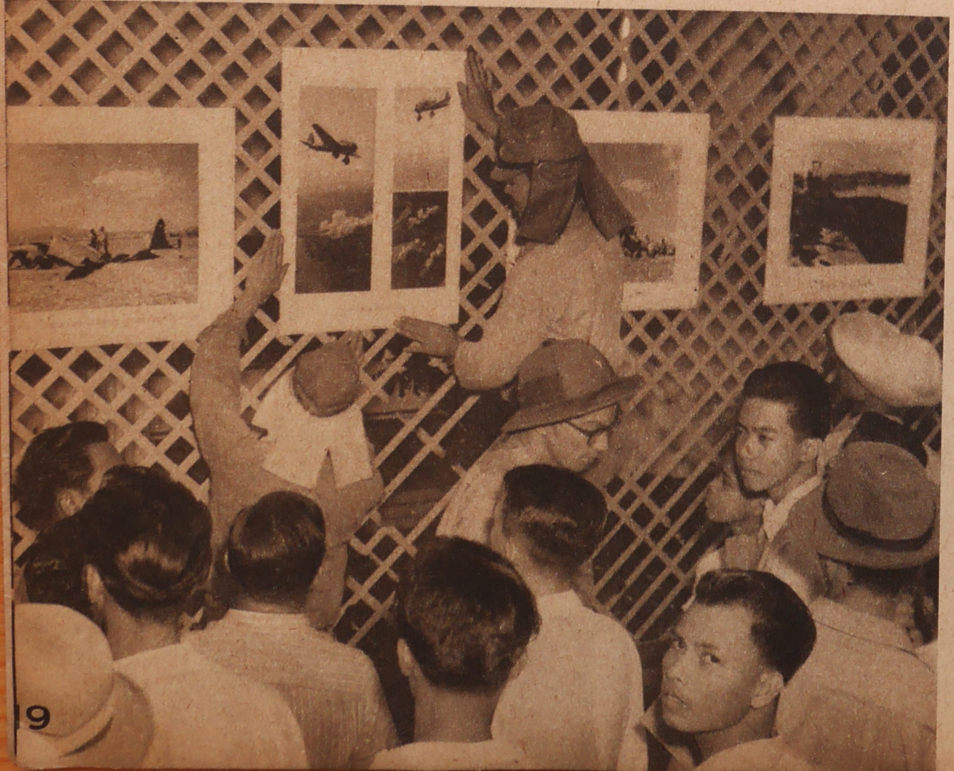
複雑な近代戰においては前面の敵を撃破することに五分の勝利があるとすれば、あとの半分は占領地區の治安工作の如何にかゝつてゐるといつてもよい。わが軍はこの意味から赫々たる戰果の後に續いて占領地區の治安工作に不休の努力を傾けてゐる

こゝフィリピンにおいては陸海からする猛攻撃によつて久しく抗戰をつゞけてゐたバタアン半島の米比軍を撃滅し最後の巨彈をコレヒドール要塞に浴びせてゐるが、マリベレス攻略は既にバタアン作戰にとゞめを刺すものであつて、後方の占領地區ではマニラを中心として活潑な治安工作が行はれ、新生フィリピンの再建は着々と進められてゐる

⇧戰火に慄いた住民には、まづ慰安を與へて氣分を和らげよう。フィリピン娘の獨唱にアンコールが湧く

皇軍の新鋭機はごらんの通りだ。⇩この優秀機は、かくの通り米英機を粉碎した――マニラ市の目拔通りエスコルタ街の寫眞展にて

撮影 陸軍報道班



⇧全校生徒そろつてイチ ニ、イチ ニ、乾布摩擦で皮膚の鍛練

僕等の任務はまづ身体（からだ）

宮崎縣延岡市
岡富國民學校

今から二十年後、否十年後の大東亞を背負(せお)つて第一線に活躍(くわつやく)しなくてはならない日本國民は、實に今日の國民學校の兒童(じどう)です。アジアを本當に十億のアジア民族(みんぞく)のアジアとして立派に建設してゆくためには、大東亞の盟主(めいしゆ)たるべき日本國民(にっぽんこくみん)の一人々々が力強い指導力を持つた立派な日本人でなくてはなりません

大東亞の地域は廣い、北は極寒零下(れいか)三十度から、南は酷熱(こくねつ)四十度を越える廣い〳〵地域がわれ等日本民族が將來榮(さか)えゆくところとして約束(やくそく)されてゐるのです。しかし、この廣い地域に進出し、大東亞を背負つて活躍(くわつやく)するにはまづ何といつても強い身體(からだ)が必要です。しつかり身體を鍛(きた)へておかなくてはその時のお役に立ちません。從つて國民學校の體育訓練(たいいくくんれん)はどんなに寒い土地でも、どんなに暑い土地でも働きうるやうな人間を作る體育訓練でなければなりまん

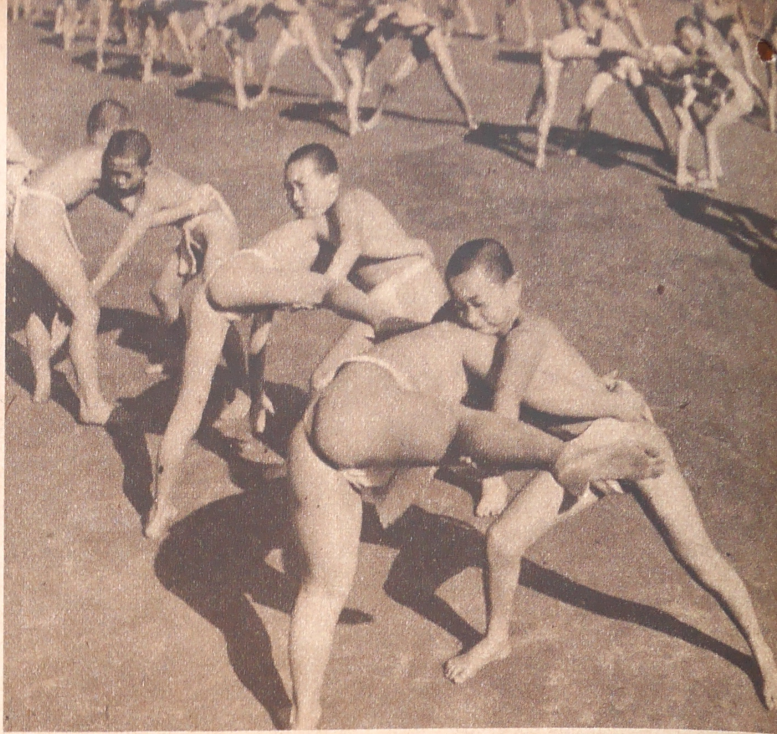
戸外の集團體操は、陽光を一杯に浴(あ)び、清

⇨『盃をとつたか、さあ飲みなさい』先生の號令で、苦い顔もせず榮養劑を飲む兒童たち

⇦むし齒は兒童の敵だ、治療も念入りに、またひどいむし齒は拔齒してしまふ

撮影 梅本忠男

⇦『エイ、オー』可愛らしい氣合が校庭を壓して、女生徒の薙刀體操



らかな空氣を吸ひながら肉體の練磨を通して心身を練成するものであり、冷水、乾布摩擦の修練は、酷暑に堪へ、酷寒にも挫けない强い皮膚の練成に役立つと同時に、己に克つ勇猛心を養ふためです

しかしながら國民學校の兒童はまだ發育の途上にあり、いはゞ若葉若芽にも比較されるので、體格の完成に必要な榮養が不足してはいけません。食物の問題は現在のところ種々の困難を伴ふ場合があるのはやむを得ませんが、學校で集團協同炊事を行つて榮養食を與へるのはどの點からみても一番合理的な方法と思はれます

しかも身體の榮養を十分にするには、是非必要な齒を强くすること、むし齒を豫防することはまづ第一に實行しなければならぬことです。國民學校に學校齒科醫を置く必要が叫ばれてゐるのも全く當然なことです

さらに身體檢査にも、健康相談にも、養護學級の教育にも、養護訓導の活動にも、衞生養護を中心とした教育を施してゆくことは、力强い大東亞の建設を目指して進まねばならない今、どの國民學校でも始めて戴かねばならないことゝ思ひます

文部省體育局 **大西永次郎**

⇧ 相撲體操に潑剌と四股をふむ、若い素肌に春光がぴち〳〵とはねてゐる

⇦ 榮養に缺けてゐる兒童には、晝食に學校給食の施設があつて、兒童の偏食を矯正したり、榮養に萬全を期してゐる

⇧腰までつかる埿田の稻刈りだが改田工事でこの苦勞も解消するのだ

氷を碎いて十万メートル
——長野佐久平の改田工作——

重疊たる山また山に圍まれた『日本の屋根』長野縣は、從つて不斷に寒冷の脅威にさらされ、ことに農業經營の苦心には言語に絶するものがある。しかし戰時食糧の確保を目指す縣下二十万農家の人たちは、この冷害と鬪ひながら粒々辛苦、昨年度においては確實に二万二千石の大増收をあげたのであるが、さらに本年は耕地の改良を實施して全面的に増産を圖ることとなり、縣下一帶にわたつてすでに逞しい改田事業が着手された

こゝに紹介する縣營『野澤平暗渠排水工事』はそのなかでも規模の最も大きいもので、十万メートルの暗渠線が測量され、淺間山と八ケ岳の低い凹み佐久平の盆地には、いま氷を碎いて長野縣増産報國推進隊による排水工事が進められてゐる

1猛吹雪を冒して測量に挺身する。暗渠構築の計畫は嚴冬の頃から進められた

2長野縣増産報國推進隊に國民勤勞協力令による初の動員が下つた

3戰線偲べば勞苦もものかは。殘雪の水田へも素足で踏みこんで

撮影 幅 忠次

情報局委囑 國民映畫受賞作品決定

情報局は昨年五月以降松竹、日活、東寶、新興、大都、東發、興亞の七劇映畫製作會社に對して國民映畫參加作品として優れた映畫の製作を委囑してゐたが、最近審査の結果優秀と認めた左の二劇映畫製作會社の作品に情報局賞を授與し別に佳作二篇を選びこれを推奬することに決定した

一、情報局總裁賞　該當するものなし
一、情報局賞（賞金壹千五百圓）
「父ありき」演出小津安二郎　松竹
一、佳作（賞金五百圓）
「將軍と參謀と兵」演出田口哲　日活
「元祿忠臣藏」演出溝口健二　松竹
「大村益次郎」演出森一生　新興

復習室

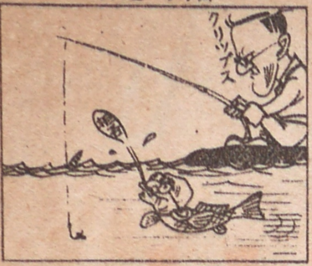
本號からあなたは何を學んだでせうか？

1こんどの靖國神社臨時大祭の委員長は誰ですか？……(17頁)
2インドの民衆が血をもつて獨立運動をつゞけてゐるにかゝはらず、イギリスがこれを手離すまいとして骨折つてゐるのは何故でせうか？……(14頁)
3セイロン島の二大軍港は？……(6頁)
4インドの重要產物を三つ擧げてみて下さい……(15頁)
5セイロン島を統治してゐるのは――インド總督？英國々王？セイロン總督？國民會議派？……(10頁)
6四月三十日は何の日？……(1頁)
7マリベレス攻略は○○作戰にとゞめを刺すものであつた……(19頁)
8インド獨立の運動はイギリス本國の强壓でいつも挫折してきましたが、インド自體のなかにも獨立への障碍があるといはれます。それは何々でせうか？……(11頁)
9わが海軍のセイロン島攻擊開始後その効果としてどんなことが起りましたか？……(6頁)
10大東亞戰爭が勃發して以來は支那方面の作戰はどうなつてゐますか――全然作戰をやつてゐないでせう？　いや、三回ばかり敵の反擊に對する作戰があつた？　數十回も作戰があり、わが方にもかなりの損害があつた……(9頁)

一問十點としてあなたは何點でしたか？

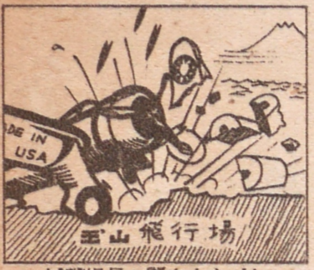
大東亞戰爭漫画日誌

石川進介



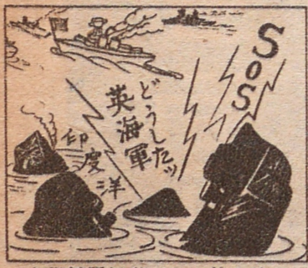
春日遅々としてすゝまず

油槽船にも歯のたゝぬ米潜艦

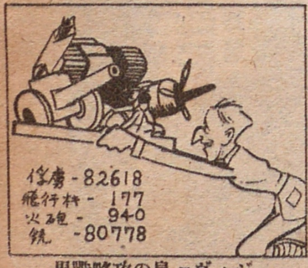


わが本土空襲の足場撃滅

英兵念の入つた降伏ぶり



悲鳴を後にして英艦隊總退却



ジャヴァ島の攻略戰果

照準器

⇦ **インドびいき**　益子善六

『斷然　黒ぢやッ！』

『何ッ　ワシも絶對白は持たんぞ』

ドタンバタン

⇧ **つづれぞ今は錦なりける**　村山しげる

苦闘幾年　大和健民は君今日ぞ晴れの歸郷です

『み國のために毎日しつかり働いとりますぞ　女房ももらうて　立派に双兒も生みましたぞ　衣料切符ですかい？　ありやそつくり献納したですわい　つゞれの方が見事で着ごたへ　見ごたへがありますわい』

⇧ **わたしの米英追放**　杉浦幸雄

『チョイト屑屋さん　わたしの米英思想のカスを御拂ひするわ』

『わつしも嫌だね』

⇨ **不斷の備へ**　石川進介

『オヤ〳〵いゝ齢をして鬼ごつこかい？』

『眞暗闇を想定して防空出動の練習ですよ！』

本誌を戰地にお送りになる場合には送料は内地と同様で帯封あるひは開封にして第三種と明記すれば、一部一錢、二部二錢です

定價　一部十錢（送料一錢）（外國郵送に依る地域は送料共一部十九錢）

▲豫約配送御希望の方は一部十錢（送料一錢）の割合を以て前金を添へ御申込み下さい

▲特大號の場合は其の都度御拂込金より差額を申受けます

申込所　全國各地官報販賣所　書店・驛賣店　新聞販賣店　寫眞材料店

寫眞週報（禁轉載）

昭和十七年四月廿二日印刷發行

編輯者　情報局　東京市麹町區永田町一ノ一

印刷者 發行者　内閣印刷局　東京市麹町區大手町

★**表紙**

バタアン半島の敗殘米比軍があがかうが、わめかうが、そんなことには少しの頓着もなくフィリピンの新建設は日の丸の下にぐん〳〵押し進められてゆく。今日もマニラ—サンフレナンド間の鐵道が開通だ。徹底的に破壊したつもりの米軍にとれ見よがしの景氣よい黒煙を吐きながら一番列車はサンフレナンド驛に到着した

撮影　陸軍報道班

寫眞週報　昭和十三年二月十二日第三種郵便物認可　昭和十七年四月廿二日發行（毎週一回水曜日發行）　第二百十七號

第五回

特別報國債券

まめさいけん

一枚一円

賣出　四月二十日より五月三十日まで

大東亞戰爭感謝貯蓄

第三回戰時
貯蓄債券
一枚二十円・十円・五円

報國債券
一枚十円・五円

賣出中

大藏省・遞信省・日本勸業銀行

內閣印刷局印刷發行

（本書の大きさは國定規格A4・「週報倍判」）